

(連続講義) ケアの哲学入門～共に生きるための姿勢～(第4回)

トラウマの人間学 ～心身との語らい

講師：崎川 修 さん(ノートルダム清心女子大学 准教授)

略歴 1971年 東京生まれ 上智大学大学院哲学研究科博士後期課程満期退学

2009年 上智大学文学部哲学科常勤嘱託講師(キリスト教人間学担当)

2013年 ノートルダム清心女子大学人間生活学部准教授(現在に至る)

専門は現代哲学、人間学、キリスト教倫理。

共著書に『心とは何か』(北大路書房)、『ニヒリズムとの対話』(晃洋書房)、

『教養としての応用倫理学』(丸善出版)、『ケアを生きる私たち』(大学教育出版)など。

「ケア」について考えることは、他者のために何が出来るかを考えることであると同時に、また私たち自身が「自己」を見つめ、いかに生きるべきかを深く考えることに他なりません。ケアは弱者に対する援助の具体的な方法であるだけではなく、いつでも私たちの人間的な「生 LIFE」を作り出す「かかわり」の基本的な姿勢でもあるのです。

この連続講座では、当たり前のように使われている「ケア」という言葉の意味を問い直すところから出発し、それをただ「専門的な技法」としてだけではなく、人間としての「生き方」の問題としても意識できるように、一緒に考えて参りたいと思います。

第四回目は、人間の「苦悩」に向き合うための心身観を探ります。脳科学の進歩により「トラウマ」と呼ばれる心の傷のメカニズムも解明されつつあるようです。しかし単なる「苦痛」ではない人間の「苦悩」は、ただ身体の内側の出来事なのではなく、その外側との「かかわり」において生きられる物語でもあります。ケアの持つ意味が深く試される経験の場所を、ともに深く見つめましょう。(参考文献: プリント資料を配布する予定です)

(4回目以後の予定)

第1回 人間を見つめる～ケアと生の地平～(終了) 第2回 ケアの問題を考える(終了)

第3回 愛することとケアすること(終了) 第5回 スピリチュアルケア ～祈りと希望

参加費：1,000円

日時：9月9日(土) 14:00～16:30

場所：上智大学 2号館 4F 404教室

102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

(JR中央線・東京メトロ丸の内線・南北線四ツ谷駅麴町口・赤坂口から 徒歩5分)

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya

主催

ベグライテン <https://www.facebook.com/begleiten2> <http://begleiten.org/> 関根090-9146-6667

ミシュカの森 <https://www.facebook.com/mforest> 入江ANA71805@nifty.com

共催：上智大学 哲学科